年末調整電子申告サービス利用委託 仕様書

本仕様書は、地方独立行政法人 桑名市総合医療センター(以下「病院」という。)が委託する年末調整電子申告サービス利用の仕様を定めるものであり、受託者は、本仕様書に基づき、誠実かつ適正に業務を遂行するものとする。

1. 目的

新たに年末調整電子申告サービスを利用することにより、常勤職員及び非常勤職員の内部事務の安定運用と適正な事務処理の推進及び事務の効率化を図ることを目的とする。

また、クラウドサービスを利用することによって業務用端末だけでなく職員個人の電子デバイスを利用することでペーパーレスや、時間や場所にとらわれることのない柔軟な業務形態を可能にし、職員の執務環境を向上させることを目的とする。

2. 委託業務名称

年末調整電子申告サービス利用委託

3. 機能要件

- (1) 単独のサービスにおいて「別紙 機能要件書」の各事項を全て満たすものであること。
- (2) システム利用人数
1,000人(職員の採用、退職の状況により変動する。)

4. サービス利用期間

契約締結の日から令和6年3月31日まで

5. 再委託の禁止

本契約に基づく業務を第三者に委託し、または請け負わせてはならない。

6. 個人情報の保護

- (1) 業務履行中知り得た情報を第三者に漏らしてはならず、かつ、他の目的に使用してはならない。
- (2) 業務の履行による個人情報の取り扱いにあたっては、個人の権利を侵害することのないよう努めなければならない。

7. その他

この仕様に定めのない事項及び疑義の生じた事項については、病院と受託者が都度協議の上、決定するものとする。

別紙 機能要件書
(システム要件)

システム要件	クラウドサービスとして提供していること
	職員番号を ID としてログインできること
	メールアドレスを ID としてログインできること
	機能ごとに閲覧・編集・削除の管理ができること
	部署マスタと連動して操作範囲の権限を設定できること
可用性	サービス提供時間は 24 時間 365 日であること（計画停止は除く）
	サーバーは複数データセンターで冗長化していること
信頼性	死活監視、パフォーマンス監視、エラー監視を行っていること
	障害監視間隔は 5 分以内であること
	監査ログを取得していること
	障害報告や対応状況を随時公開していること
拡張性	法改正と帳票レイアウト変更等の対応には、追加費用を要しないこと
	API を公開していること
	同時接続利用者数に制限がないこと
	ディスク容量やページビューなど、提供リソースに制限がないこと
上位互換性	OS やミドルウェアのバージョンアップに対応する措置は、受託者が対処し、追加費用を要しないこと
データ保護対策要件	外部からの攻撃を受けないよう、物理的または論理的に閉鎖された環境でサービスを提供し、外部媒体からウイルス感染しないよう、対策ソフトウェアを導入・更新していること
	障害復旧に要するデータバックアップは、日次で取得し、簡素で迅速・確実に復旧ができる方法を講ずること
	冗長化構成とするなど、サーバー等のハードウェアに起因する障害やシステム障害、ネットワーク障害等といったハードウェア・ソフトウェアの両観点から対策を行い、障害等が発生しても、業務に影響を及ぼさないような構成とすること
	障害発生時に迅速に対応できるサポート体制が構築されていること
	データ漏洩・破壊時の損害保険に加入していること
連携要件	必要なデータについて CSV の取り込みによる連携ができること
	必要に応じて連携する各システムとの連携を正しく行うことができるよう、技術的支援等を提供すること
	運用中のシステムとデータ連携ができること 連携するシステム：大和総研インフォメーションシステムズ 給与システム LAPiS
	他システムからのデータ取り込み時にエラーが発生した場合、エラー原因がわかる仕組みがあること
	CSV は任意のテンプレートが作成できること
セキュリティ要件	データセンターは日本国内にあること
	準拠法は日本の法律であること
	システムにおいてはシステム全体を管理する機密保護システム等を有し、データ利用の権限管理設定が可能であり、不正なアクセスからデータ保護を図ること

	所属、職員、係等に対する詳細なアクセス権の設定により、不正なアクセスから データ保護を図ること
	ISMS 認証 (ISO27001) を取得していること
	二段階認証に対応していること
	アカウント権限に応じて送信元 IP 制御を設定できること
	個人番号・パスワードについては暗号化して保存していること
	通信は SSL/TSL で暗号化していること
操作性・画面要件	直感的に操作できる画面設計であること
	視認性(画面要素の配置の的確性、配色や文字の大きさの的確性、画面項目の必要十分性、疲れにくさ等)が高いこと
	基準が主観的になることを避けるため、一つの目安としてグッドデザイン賞の受賞歴など、客観的な評価を有すること
	操作(キーやマウスの使用法、編集補助機能等)が効率的であること
	誤操作防止機能を有していること
	データの入力と表示に一貫性があること
	操作方法の習得が容易であること
	色の区別がつかないような能力(色覚多様性)や環境(白黒印刷)でも画面の情報が得られる画面設計がされていること
サポート要件	過去の問合せ履歴を顧客ごとにデータベース管理していること
	導入、運用における機能マニュアルを動画や Web ページで公開していること
	システム提供者において、当機構管理者の運用支援を役割とする担当者群(カスタマーサクセス)を組織的に有していること
	システム提供者より当機構専任サポート担当(カスタマーサクセス)が付くこと
	導入時のサポートに限定せず、必要に応じて運用中の最適な提案や報告など総合的な支援をすること
	機構内での職員周知用のチラシ等、提供可能なデータがあること

(年末調整要件)

管理者向け	年末調整に関する下記の書類の情報を PC やスマートフォンを利用して回収できること <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年の給与所得者の扶養控除等(異動)申告書 ・ 来年の給与所得者の扶養控除等(異動)申告書 ・ 給与所得者の保険料控除申告書 ・ 給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 所得金額 ・ 住宅借入金等特別控除申告書
	給与計算システムに取り込むための上記 CSV データおよび PDF データを出力できること
	年末調整に関する書類に初期表示するための個人情報の CSV データを取込めること
	保険料データを事前にインポートし、職員画面に初期表示(修正可能)できること
	団体扱いの生命保険データを事前にインポートし、職員画面に初期表示(修正不可)できること

	今年度取り込み・入力したデータを来年度の年末調整実施時に引き継いで利用できること
	年末調整実施前後の個人情報に関する差分データを出力できること
	未提出の職員に対して一括に登録されているメールアドレスに督促が出来ること
	管理者が職員の回答状況や完了状況をシステム上でリアルタイムに確認ができること
	管理者が職員の保険情報を添付画像と比較してリアルタイムに確認ができること
	差戻しをシステム上で行えること
	管理者が代理で書類情報を記入・修正ができること
	操作ログの取得・閲覧ができること
	書類に関するコメントを記載できること
	複数名で確認を行うためのダブルチェック機能があること
	毎年の法改正に対応してアップデートされること
	年末調整について法定期間の保存ができること
	各設問の補足、注釈を設定することができ、未記入エラーが出るなどのサポート機能があること
	職員へ年末調整の依頼通知・案内文を自由に設定できること
職員向け	原本提出用の台紙をオンラインで配布することができること
	回答中の年末調整情報が自動保存されること
	送付書類の授受管理・チェック状況管理ができること
	登録データの自動チェック・判定ができること
	職員の年末調整に関する情報入力アンケート形式など簡易に入力ができること
	回収が必要な各種証明書（前職の源泉徴収票、障害者手帳、保険料控除証明書など）については画像データをアップロードができること
	保険料の控除金額は自動計算されること
	従業員からのよくある問合せをチャットボットやFAQ、ヘルプページなどで本人が自己解消できること
	住宅借入等特別控除申告書について入力例等が確認できること
	入力後、本人が回答を再度チェックすることができること
	前職情報の入力ができること